



長期留学体験談（コリア語圏）

2023年度 韓国カトリック大学（韓国）

S.A.(心理学科 2023(R5)年度留学)

私は語学力向上と日本では取り上げられない、また日本寄りの歴史になってしまうため日本では学べない韓国の文化・歴史を学ぶことが留学の目的でした。

今思うと恥ずかしいですが、留学前はコリア語にも少し自信があり、そんな心配はいらないだろうと考えておりました。しかし、韓国に来て自分が知らない単語や聞きなれない言葉が飛び交うため、急に不安になり日本に帰国したいという気持ちが強くなってしまいました。語学堂、大学の授業が始まりその不安はさらに強くなり、私はあと4ヶ月やっていけるのだろうか、自分の目的は果たせるのだろうかと不安に思うようになりました。しかし、授業を受けていくうちにコリア語に少しずつ自信を持てたり、コリア語で話すこと・聞くことに慣れてきたりととても楽しく時間が過ぎていきました。また、韓国の学生と交流し韓国の文化について学び、自分が知らなかったことがやはり多く、聞いていてとても興味深かったです。一緒に発表をした韓国の学生も発表の準備中とても優しく韓国語をゆっくり話してくれたりそれ以外にもカカオトークで心配してくれました。

韓国と日本の政治面では以前より良好になっているものの、とても良好というわけではないと留学し改めて感じました。もっと良くなればと思いますが、私が履修した授業の中で少しだけ竹島の話になり、教授が竹島は韓国のものだが日本は日本のものだと言いつづけているのを見て、そんな簡単なものではないのだと痛感しました。その中でも日本の文化、日本自体に興味を持ってきている韓国人が多く、日本人としてとても嬉しく思いました。日韓がもっとお互いに理解し、歩み寄ることは大事だと考えていますが、まずは日本が好きだと言ってくれている韓国人に対して温かい心を持てる社会になるよう少しでも手助けできればと感じています。

2021年度 韓国カトリック大学（韓国）

W.H.(英語文化コミュニケーション学科 2021(R3)年度留学)

コロナ禍であったことも影響し、期待がありながらも不安と緊張との葛藤が多くあった。また、異国での2週間の自己隔離は精神的に辛い部分もあり、その中で一人どのように工夫して過ごすかという課題もあった。しかし、今のご時世特有の隔離期間という欠点による不安や怖さがありながらも、一旦行動してみたことで、自分の心持ち次第でどうにでもできることを改めて実感でき、その後の学生生活や日常生活でプラスに活きたことが多くあった。

例えば、ほかの留学生や現地の学生と交流し、グループワークを行う際、通常より出会える方法や機会が限られている中積極的にコミュニケーションをとり、行動する原動力につながった。また、行動することによって得た自分でどうにかするという精神力が多額の挑戦につながった。そして、コロナ禍であることが自身の足を引っ張らないよう考え、自分なりに工夫してまず動いてみることで、経験の幅が大きく広がったと感じる。もちろん、精神的な部分だけではなく学習面でも、現地で言語を日常的にも

学問的にも使わざるを得ない状況に飛び込むことで、語学力はよりネイティブに近づき、自信にもつながった。

留学生活を通して得たものは、大きく言えば「挑戦力と実践力」だと感じる。今までは考えはあっても行動には移せず、中途半端で終わっていた時も何度かあった。けれども、留学を決心してから準備を含め向こうで生活したこともすべてやり切ったと感じる経験が、今後への大きな自信と自身の可能性を知る機会になったと考える。これから先社会に出て迷うことやためらうことがあっても、今回の経験で学んだ、まず取り組んでみる、飛び込んでみるという姿勢で向き合えば、最初は小さな変化でも、後に大きな変化とその後の可能性につながるという希望をもって挑戦することを忘れずに努力したいと考える。



2020年度 韓国カトリック大学（韓国）

R.A.(国際交流学科 2020(R2)年度留学)

私は「視野を広げること」を留学の目的としていましたが、実際にはそれがどういうことなのかあまりよくわかっていませんでした。しかしこの留学を通して、視野を広げることとは考え方が豊かになることだとわかりました。

留学をすると、本当に多種多様なバックグラウンドを持つ人に出会います。日本にいても考えの違う人に出会うことはありますが、それ以上に自分とは異なる考え方をする人とたくさん出会いました。そのような人達とコミュニケーションをしていく中でうまくいかないことは何度もありました。それでもなんとかその壁を乗り越えようとするとき、偏った考え方ではいつまでも克服することはできません。そのときに必要なものこそ広い視野であり、豊かな考え方でした。留学中にコミュニケーションの取り方に悩んだとき、学習面・生活面で困難に直面したとき、私はひたすら悩んで考えました。これまでの生活のなかで、これほど悩み、考えたことはないほど悩んで考えました。この「悩んで、考える」という過程が豊かな考え方に繋がり、視野を広げてくれたのではないかと思います。

また、私は周りに家族のように支えてくれる人がいない環境で自分の力を試してみたい、という思いで留学をすることにしました。実際に留学をしてみると、自分が今までいかに恵まれた環境にいたかということを実感し、これまで私を支えてくれた家族や友人の大切さや有り難さを感じました。豊かな考え方と広い視野で自分の環境、周りの人達に対する感謝を改めて実感したとき、私は人として成長できたと思います。留学中にも私を支えてくれた人はたくさんいました。その人達と今まで私を支えてくれた人達に対する感謝はいつまでも忘れずに過ごしていきたいと思います。また留学中の経験や反省を活かして、豊かな考え方と広い視野で常に向上心を持ち続けられる人でありたいと思います。



2020年度 韓国カトリック大学（韓国）

M.I.(国際交流学科 2020(R2)年度留学)

今までの人生の中で、これほど困難にぶち当たり、解決しようと模索し、目標を持って一生懸命行動してきた1年はないと思います。コロナ禍ということもあり、イレギュラーなことが多くありました。この状況で留学での目標を成し遂げるためにどうしたらいいのか考え、アルバイト、インターンとして日韓討論会の実行委員の経験、学校の韓国語発表会に参加し3位入賞するなどさまざまな活動を行ってきました。

このような経験の中で沢山の韓国人、韓国語を勉強している日本人に会い、将来を考える上で多くの刺激を受けました。語学力ももちろん伸びましたが、それだけでなく、内面的な成長がこれから大きく生かされてくると思います。留学で培ったこの行動力・対応力・自信が大きな武器になると確信しています。また、留学において「日本人としてのアイデンティティ」を考える機会が多くありました。外国にいと想像以上に自分が「日本人」としてみられます。日本とは、日本人とはについて大学生の時期に考えることは大きな意味を持つと思います。自分が外国人としての立場を経験することで、日本にいる外国人の立場の弱さに気がつきました。日本で生活していると、自分より立場の弱い人や外国人について意識する機会が減ります。これからは、日本にいても韓国だけでなく世界との結びつきを忘れず、常に価値観のアップデートを怠らない人になりたいです。



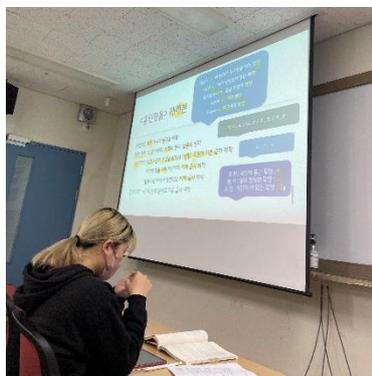
2023 年度 ソウル女子大学（韓国）

K.M.(日本語日本文学科 2023(R5)年度留学)

私にとって留学は初めての経験で、不安なこと、辛いこともたくさんありましたが、その分楽しく、また人として成長できた機会だと感じています。TOPIK4 級まで取得して留学に行ったのですが、留学当初は想像していたよりも意思疎通で苦勞して、買い物するだけでも一苦勞で自分の語学力に失望したこともありましたが、自分なりの方法で伝えたり、韓国人の友人を作って韓国語を使う環境を自分から作るよう努力しました。そして、アルバイトを3つ経験し多くの人に会って、経験したたくさん勉強できた機会でした。周りの韓国人の友人に、「あなたとは外国人の友人ではなく、一友人として一緒にいれる」と言ってもらえた時には、自分の成長を大きく感じ嬉しかったです。また、目標としていた TOPIK6 級合格も韓国語力の成長を強く感じました。私は、安全志向な性格で今までは新しい挑戦にはあまり挑まなかったのですが、この留学を通し最初は「留学だから」という気持ちからさまざまなことに挑戦してみました、それを通してたくさん学ぶことができました。

1年は長いようで短いあっという間な時間でしたが、「自分と向き合い」また「異文化を学ぶ」ことのできた濃い一年になったと思います。学校には、韓国人だけでなく、アジア圏、ヨーロッパ圏などさまざまな文化を持つ学生が在籍していました。授業で意見を交換し合う際には、新たな発見に出会うことができ、毎日がとても新鮮でした。授業では、受動的に聞くのではなく、能動的に自身の考えを発言することや授業内発表なども多く、そのような環境からいつしか自分の意見を持ち発言できる力が身についたように感じます。

この1年、海外で一人で生活したことは、自分自身にとって大きな経験になり、自信を与えてくれる物になったと思います。何かに挑戦してみることの面白さや、そこから得られるものに気づけたことは、今後の自身の成長にも繋がってくると思います。また、留学中に会った友人、先生、上司や、恵まれた環境下でやりたいことに挑戦できる環境をくれた両親、大学に感謝しています。この経験を活かして、将来さまざまな場所で活躍できる人材になりたいです。そして、常に新しいことに興味を持ち挑戦し成長していきたいです。



2023 年度 ソウル女子大学 (韓国)

C.N.(英語文化コミュニケーション学科 2023(R5)年度留学)

私は大学2年生の夏に参加した外務省主催の対日理解促進交流プログラムで、語学力不足を実感し、その経験から今回韓国留学することを決意しました。

今回の留学を通して、現地で実際に生活した経験や同世代の韓国人との交流から、自分の興味関心のある国の理解を深めることが出来たため、今回の留学の目標を達成することができたと思います。また、履修選択した文化理解に焦点を当てたディスカッション形式の授業で、自身の意見を求められるだけでなく、異なるバックグラウンドを持つ人々の意見を聞くことで、新たな視点から物事を知る貴重な機会となりました。そして、今回の留学生活で軽いフットワークとチャレンジ精神を持って行動に起こすことの重要性を実感しました。積極的に友達を作り、韓国語でのコミュニケーションを取る環境を自ら作ったことで、留学前よりも韓国語を話すことに対して自信が付き、韓国語で自身の意見を述べるできるようになりました。また、授業を通して異なる文化背景を持つ友人たちとの交流を通じて、韓国だけではなく、ベトナムやフィリピンなどの友人を作ることが出来、交流の輪を広げることができました。

この4ヶ月間の留学生活は充実した毎日を送ることができ、とても短く感じました。毎日充実した生活を送ることが出来たと思えるのも、韓国で出会った友人たちが私に対して優しく接してくれたからだと思えますし、私が韓国に魅力を感じる要因の1つは韓国人が持つ情だと思えました。これからもこの出会いを大切に、今後も友人たちと連絡を取り続けたいと思っています。最後に、もし留学することを決意していなかったら後悔していたでしょうし、自分の意見を尊重してくれた両親に感謝しています。これからも留学で得た自身の強みを活かし、新たな挑戦に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

2022 年度 ソウル女子大学 (韓国)

H.K.(国際交流学科 2022(R4)年度留学)

大学生のうちに長期留学をしてみたい、そんな漠然とした目標のもと私は大学に入学しました。しかし、コロナにより世界中が大きなパンデミックに翻弄されていた当時、海外に行くことすら不透明であり、留学とは程遠い自粛期間を過ごす事となりました。そんな時参加したのが、短期オンライン留学です。オンライン留学での学びや出会いを皮切りに、やはり画面上ではなく"実際に現地へ渡りたい"と考え始め、今回の長期留学に参加しました。

約1年という留学期間は長いようで凄く短く、"異文化社会で学ぶ"という事、そして"自分自身を知る"という点において、非常に貴重な時間を過ごすことが出来たと思えます。留学先大学には、韓国人だけでなくアジア諸国や米国、ヨーロッパなど様々な国の留学生在籍していました。文化的背景が異なれば、当然物事を考える角度や視点も大きく異なり、意見を交わすことではじめて見えてくる新たな発見に囲まれ、刺激ある日々を送りました。講義形式の授業でも、ディスカッションを挟むことで能動的に学ばせる形式の授業が多く、"自分の考えを主張し、他者の意見に耳を傾ける"そんな学習姿勢がいつしか抵抗なく身に付いていたように思えます。

今回の留学は、本当に大きな意味を持つ貴重な経験となったと同時に、私自身に自信を与えてくれるものとなりました。自ら行動し挑戦する楽しさを身をもって証明した事で、学習面、生活面共に成長できた1年であったと思います。興味のあることに思いっきり打ち込める環境を与えてくれた両親や大学、友人に感謝し、必ずこの経験を将来に活かせるよう努力したいと考えています。

2022年度 ソウル女子大学（韓国）

H.N.(日本語日本文学科 2022(R4)年度留学)

私は、今回の留学で自ら積極的に行動する力を身につけられたのではないかと思います。実際に現地に出発するまでももちろん、自分で書類を準備したり、必要なものを揃えたりなどもしましたが、基本的には国際センターの職員の方を通して行っていただくことが多かったです。

しかし、実際に留学が始まってみると想像以上に自分自身で意識してやらなくてはいけないことが多くありました。何かわからないことや不便なことがあっても、まずは自分で調べて解決するというようなことが何度かありました。最初のうちは少し混乱することや不便に感じることもありましたが、段々なれてくるとその先のことを想定して行動をするようになりました。たとえば、何かを申請するときは返信に時間がかかったとき、不備があったときを想定して申請期間の初日に行う、生活をしていて気になることがあったら、積極的に事務室を利用して解決するなどコミュニケーションをとることをためらわずできるようになりました。言語が異なる国に行くと、やはり相談することやお願いをすることに怖さを感じ委縮しがちだと思います。私も最初はそうでした。しかし留学を経験してみて、言語が違う国だからこそ、たくさんコミュニケーションをとることが大切なのだと思います。最初はつたない韓国語で簡単に伝わらないこともありましたが、こちらが解決したいという意思を伝えれば、相手も話を聞いてくれます。まずは思った時に思い切って行動に移すことが大切であると学び、積極的に行動する力を身につけました。今後はこの留学経験を活かして、コミュニケーションを沢山とることが出来る人、自分がすべきことを自分で探して行動できる人になりたいと思います。

2022年度 ソウル女子大学（韓国）

A.A.(国際交流学科 2022(R4)年度留学)

私にとって留学は今回が初めてで、この一年を通して本当に色々な経験をさせていただきました。語学力向上を目的として行きましたが、それだけでなく、人間としても成長できたと思います。留学は楽しいことも多かったですが、それと同じくらい辛いこともたくさんありました。

まず、渡航したばかりのころは、意思疎通で苦労しましたが、ジェスチャーや簡単な単語を使ってどうにかして自分の思いを伝える努力をしました。そして、アルバイトをしたり、韓国人の友達と半年間一緒に住んだり、様々な経験を通して、最終的に TOPIK6 級を取ることができました。最後にルームメイトに「話していて楽だから、あなたが日本人であることをよく忘れる」と言われた時には、努力の成果を感じ、とても嬉しかったです。他には、私は不測の事態に弱いタイプでしたが、海外で生活する以上頻繁にそのような事態が起きます。最初はうまく対処できず大変でしたが、焦らず冷静に考え、対応できるようになりました。また、手を差し伸べてくれる人もいて、出会いの大切さを改めて感じると

もに、人に頼ったり協力することの大切さも学びました。皆それぞれバックグラウンドを持っており、多様な考え方や価値観を学ぶことができました。留学で出会ったすべての人、そして、恵まれた環境の中で学び、生活できたことに感謝しています。

この1年、海外で一人で生活したことは、大きな自信に繋がりました。たくさん悩み、考え、挑戦し、多くの出会いが私を成長させてくれました。また、一度日本を出ることで、日本の良いところをたくさん見つけることができました。ずっと日本に住んでいると、全てが当たり前になってしまいがちですが、日本の良さを改めてもっとたくさんの人に知ってほしいです。私は別の国や言語にも興味があるため、この経験を活かしていつか再び海外に行きたいです。常にグローバルな視野を持ち、成長していける自分でありたいです。



2020年度 ソウル女子大学（韓国）

Y.K.(史学科 2020(R2)年度留学)

大学に入学するまで韓国に特に興味がありませんでしたが、第二外国語の韓国語の授業が面白くて韓国に関心を持ち始めました。留学についての相談をした際、両親と意見が合わず衝突してしまいましたが、我儘を突き通し一年間頑張らせてもらいました。

そう心に決めて留学の準備を進めていた矢先、新型コロナウイルスが流行し始めました。無事に渡航はできたものの到着して1週間もしないうちに他大学から派遣された留学生たちが自分の国に帰っていく様子を見て、私の留學生活は一体どうなるのか不安に駆られました。最初は慣れない土地での生活に順応できず、体を崩してしまったり、自分の韓国語の実力を周りと比較して落ち込んでしまったりすることもありました。しかし双方の国際センターの方々と一緒に留学に行った聖心のみんなに支えてもらい、とても充実した生活を送ることができました。

この1年間を通して韓国人と一緒に対面で受講した授業はゼロ。オンライン授業だと決定した時、海外まで来たのに家で授業を受けるなんて…と当初予定していた理想の留學生活とかけ離れたことに落ち込みもしましたが、誰も経験したことのないコロナ禍という制限された状況の中でできることは全てやってやろうと気持ちを切り替えました。まずは現地の人との関わりを作ろうとオンラインで日韓交流をするサークルに加入したり、交流会に行ってみたり、掲示板に自分の連絡先を投稿して友達を呼び掛ける等、恥とためらいを捨て日本にいるときよりも積極的に行動することを意識して毎日を送りました。そのおかげで度胸もつき、韓国語も自然と実力が伸びました。とは言っても専門的な内容を扱う大学の授業はとても難しく、講義動画を反復し勉強していました。授業は学生自身が作って

いく主体的なスタイルなので課題や発表などがあり、自分の意見を求められる機会が多く戸惑うこともありましたが、日本との差を肌で感じる事ができて楽しかったです。

この留学を経験して語学力はもちろんですが、学びの環境は自分次第でどうにでもなること、積極的に行動することの大切さを身に染みて感じ精神力も鍛えられました。これからも韓国と繋がりを持ちながら生活していきたいと思います。

2020年度 ソウル女子大学（韓国）

Y.A.(英語英文学科 2020(R2)年度留学)

私は今回の留学で人生において、大切なものを学ばせていただきました。それは、自信を持つこと、努力をすることの大切さ、人間の温かさです。第二外国語の韓国語を極めたいと思い留学を決心しましたが、いざ韓国に行ってみると韓国語の勉強以外にも学ぶことは沢山ありました。

日本にいた時までは自分の存在価値について否定的な考えを持っていましたが、韓国に留学をしてからは学校の授業などで韓国の方々に直接触れる機会が増え、韓国の方々の意志の強さや、自信の持ち方に感銘を受けました。そして、私もそのような人間になりたいと感じるようになる事が出来ました。そして、努力をすることによって人は強くなれるし、自信も持つことが出来るという事に気づきました。人間が生きていく中で大切なことを学ぶことが出来た今回の留学は、私にとってとても貴重な経験でした。これからの就職活動、そして人生において努力をして自信をつけることをしっかり生かしていきたいと考えています。また、海外に一人で暮らすという経験から自立心を育成できたことと共に、今まで離れて暮らすことのなかった家族の大切さを再度実感しました。韓国でも韓国人の友人の家族と2か月間生活を共にするという貴重な経験をさせていただきました。外国人である私に対して自分の娘のように接して下さり、一緒にショッピングやキャンプにも行き、家では料理をしたり、韓国の文化についても様々なお話をしてくださいました。そして、学校のバディー制度で友達になった友人も私に韓国で素敵な思い出を残してほしいと2か月間という短い間にも関わらず私のために時間を削って案内したり話をしてくれました。

このような事から今回の留学では人間の温かさも身に染みて感じる事ができました。今後も留学で培った知識や経験を生かして常に努力をしていく人間になりたいと考えています。